

# ラジオNIKKEI

【オプション倶楽部】OP売坊戦略コースの新規会員（来年1月開始）を12月20日まで割引価格で募集しています。  
ご入会いただいた方は12月18日（土）10時にオンラインで開催する「入門セミナー」に無料でご招待いたします



## 『賢者のマーケットインサイト』資料

(2021年12月15日放送分)

- この資料は、ファイナンシャル・リテラシーの向上のみを目的として作成されたものです。
- したがって、いかなる投資勧誘の目的で作られた物ではございません。
- この資料での数値などにつきましては、信頼できる筋からの情報に基づいておりますが、その正確性を保証するものではありません。
- 投資につきましては、あくまで、自己責任でお願い申し上げます。
- 日経OP売坊は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

# 2022年1月限SQ日(1月14日)までの注目イベント (P.2)

## <米国>

12月16日: 製造業PMI (速報値)

12月16日: 政策金利

01月06日: FOMC議事録

01月12日: 消費者物価指数

## <欧州>

12月16日: 政策金利

12月17日: 消費者物価指数(改定値)

01月07日: 消費者物価指数(速報)

## <日本・世界>

12月29日: 失業率、鉱工業生産(速報)

12月30日: 大納会

12月31日: 【中国】製造業PMI

01月04日: 大発会

01月18日: 日銀金融政策決定会合

テーパリング(量的緩和縮小)加速の発表が「サプライズ」になるかもしれません



※SQ日は期近(月次・週次)の未決済建玉が清算されるためオプショントレーダーにとって区切りとなる日です。

## 2021年 12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

## 2022年 1月

						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	

WK-OP SQ
月次OP・ミニ先物SQ
メジャーSQ
月次OP・ミニ先物・ラージ先物SQ

注) 予定は予告なく変更される場合があります。  
出所)ブルームバーグ・ロイターなどから管理人作成



## OP売坊のグレイ・リノ (P.3)

サイは普段おとなしいが  
怒ると、とっても怖いのだ

### 🐘 新型コロナの変異株と感染再拡大

🐘 TOPIX・日経平均株価の採用・計算方法見直し、取引要綱の変更

🐘 米国金利の動向（テーパリングの前倒し）

🐘 日米中の財政悪化と増税

🐘 岸田首相の賞味期限（2022年7月に参院選）

### 🐘 スタグフレーション？

🐘 世界的な自然災害の拡大等で食料価格高騰か

🐘 寒波で電力不足（石油価格再上昇）

🐘 半導体不足

🐘 物流問題（海運も陸運も）と年末商戦

🐘 バフェット指数の異常値

🐘 米国:206.8、日本:155.0（2021年12月10日）

### 🐘 年末年始（12月31日～1月3日の休場）



のちほどオミクロン株の第一報による警戒感で株価が急落したときの日経225PUT買い機会について紹介します



年末の日経平均の水準にもよりますが、年末年始は基本的に日経225売りポジションを小さくしておきたいと考えています。または、ヘッジのポジションと組み合わせておく対応も考えられます。波乱要因となり得る1月12日の米CPI（消費者物価指数）は1月SQ（1月14日）直前ですので、微調整で済むかもしれません

## 🐘 米国中間選挙(2022年11月)

グレイ・リノ（灰色のサイ）とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが起これば、大きな値幅が出るため、オプション投資家に重要となる。特にPUT買いを仕掛けられる可能性や、破産もあり得るPUT売りを避けられる可能性が高くなる。



## 米国中間選挙 (P.4)

2022年11月8日(大統領選の中間年に実施される国・地方の統一選挙)

上下院とも共和党有利の情勢

➤上院(任期6年、定数100)の約3分の1の34議席

民主党 50      共和党 50

共和党が勝利すると「ねじれ」となり、バイデン大統領の政策が通りにくくなります



➤下院(任期2年、定数435)の全議席

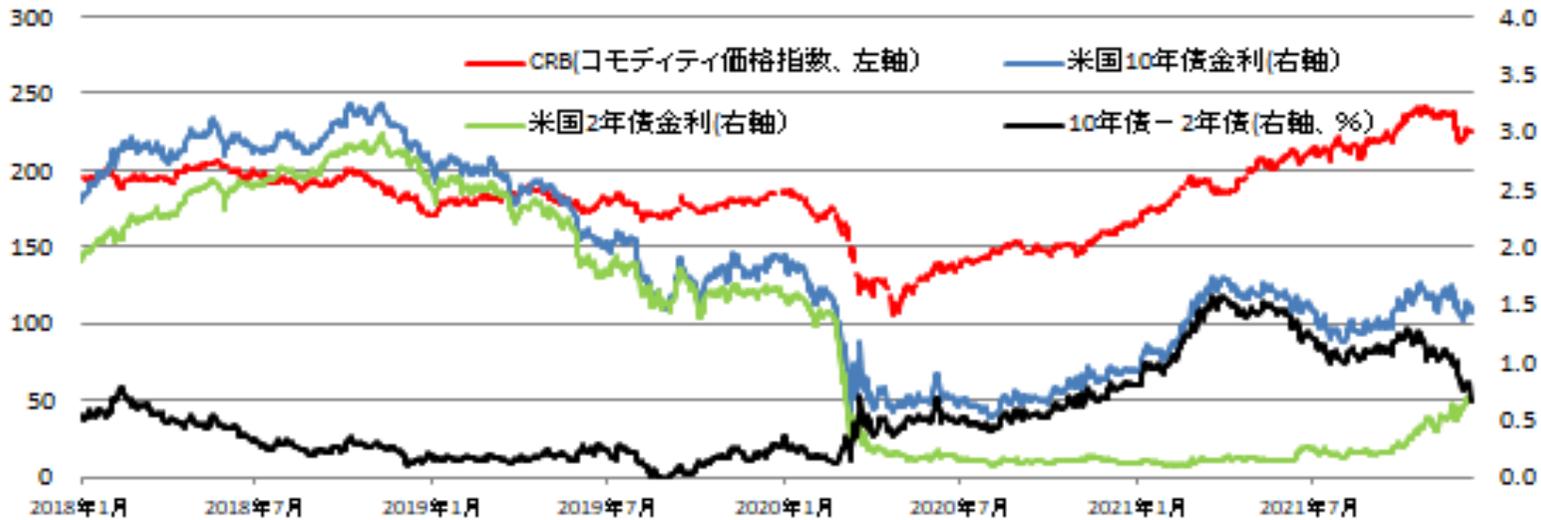
民主党 219      共和党 211      欠員 5

バイデン大統領は中間選挙で誇れる「成果」を必要としています。内政に失敗すると国際問題が2022年のグレイ・リノになるかもしれません

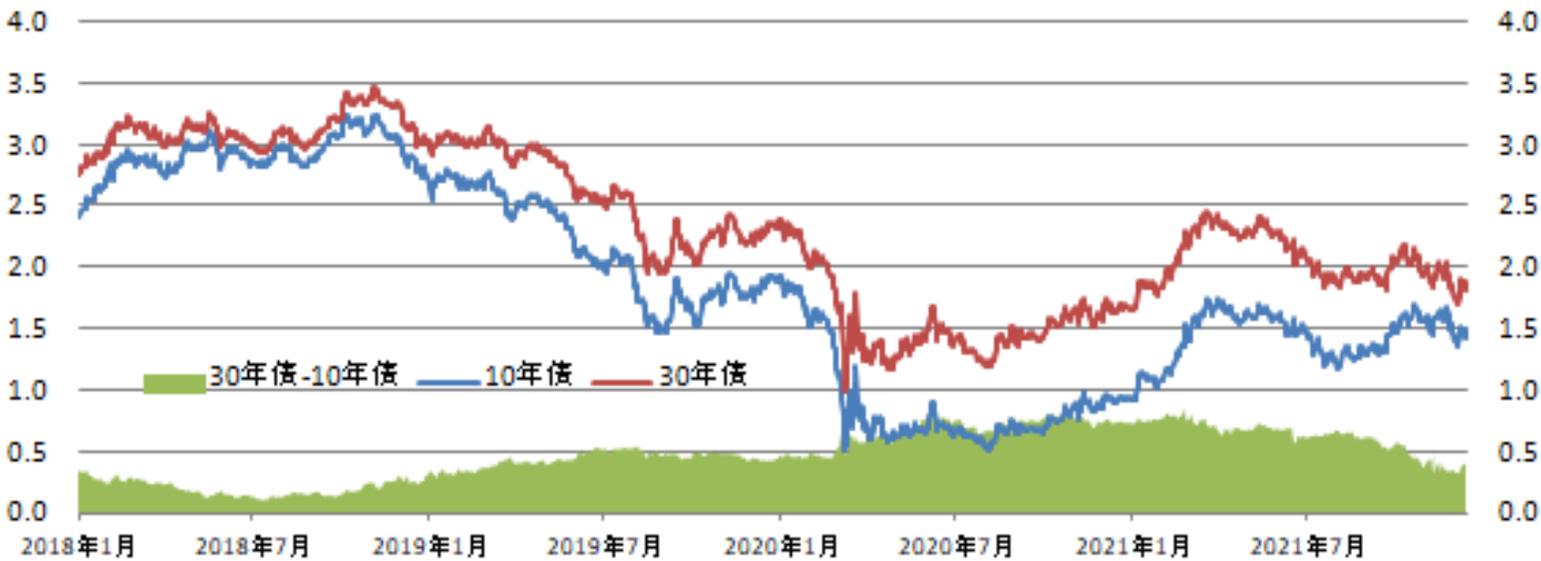
アフガン撤退の進め方やガソリン価格の急騰などで、バイデン大統領の支持率は37%程度に低下中です(出所: CNBC12月11日)。パウエルFRB議長は再選してもらった恩義があるので、政権の意向をくんでインフレ退治を優先する金融政策を進めていくかもしれません



# 米長期金利(長期債利回り)が低下 (P.5)



長期金利は低下し、中期金利は上昇して米イールドカーブ(利回り曲線)がフラット(平坦)化しています。これも将来の景気失速懸念だと考えています



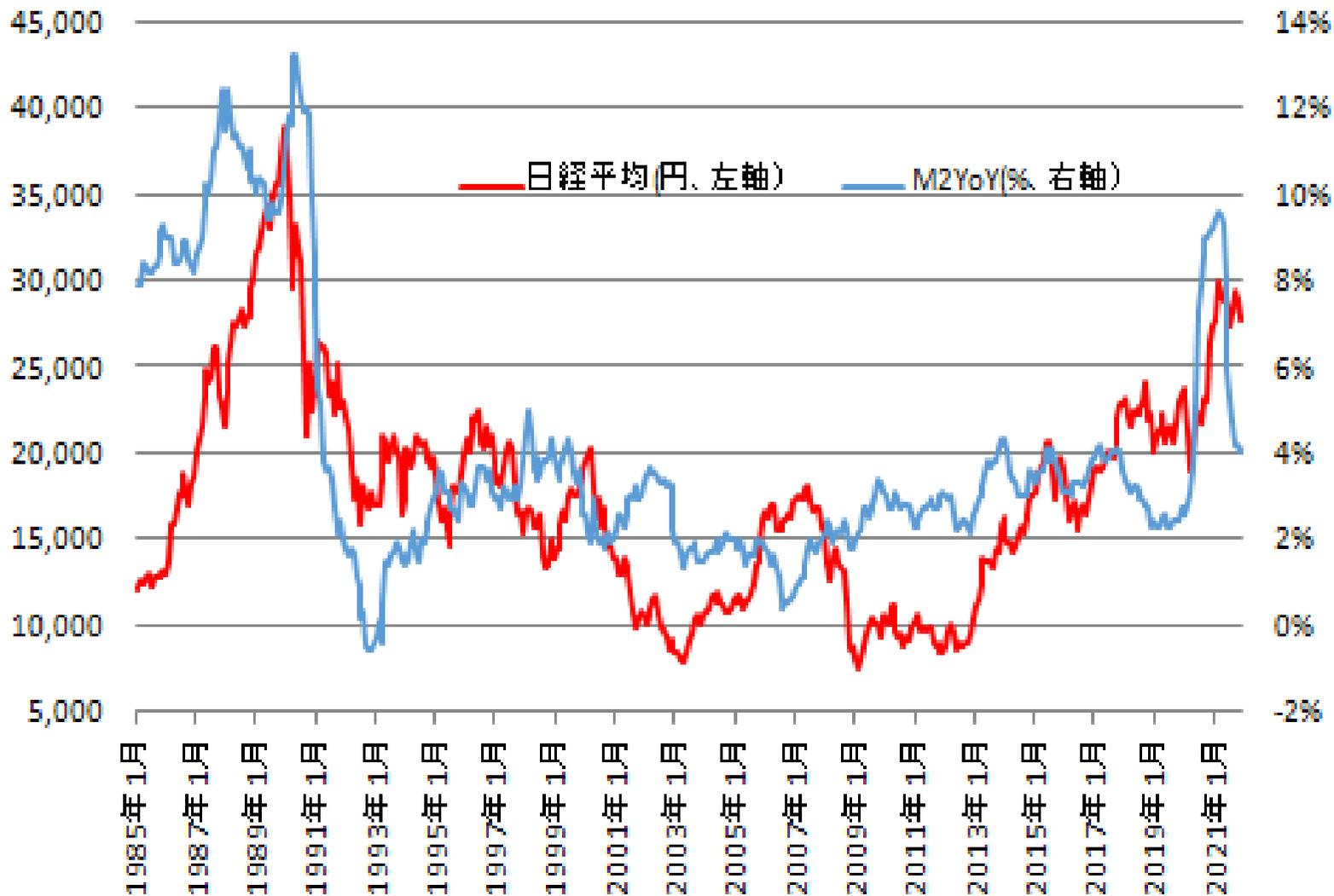
金利の低下は、将来の景気失速懸念だと考えています。CPIは高止まりするものの景気が低迷するスタグフレーション入りの可能性が個人的には3割程度にまで高まってきていると考えています

出所) ブルームバーグなどより筆者作成、(2021年12月13日現在)



# 日本のM2伸び率 (P.6)

青線は日本のM2（通貨供給量:マネーストック）前年比（右軸、%）



ついに11月の日本のM2前年比が4%を割りました。このままの状態ですと年率の伸び率はさらに低下します



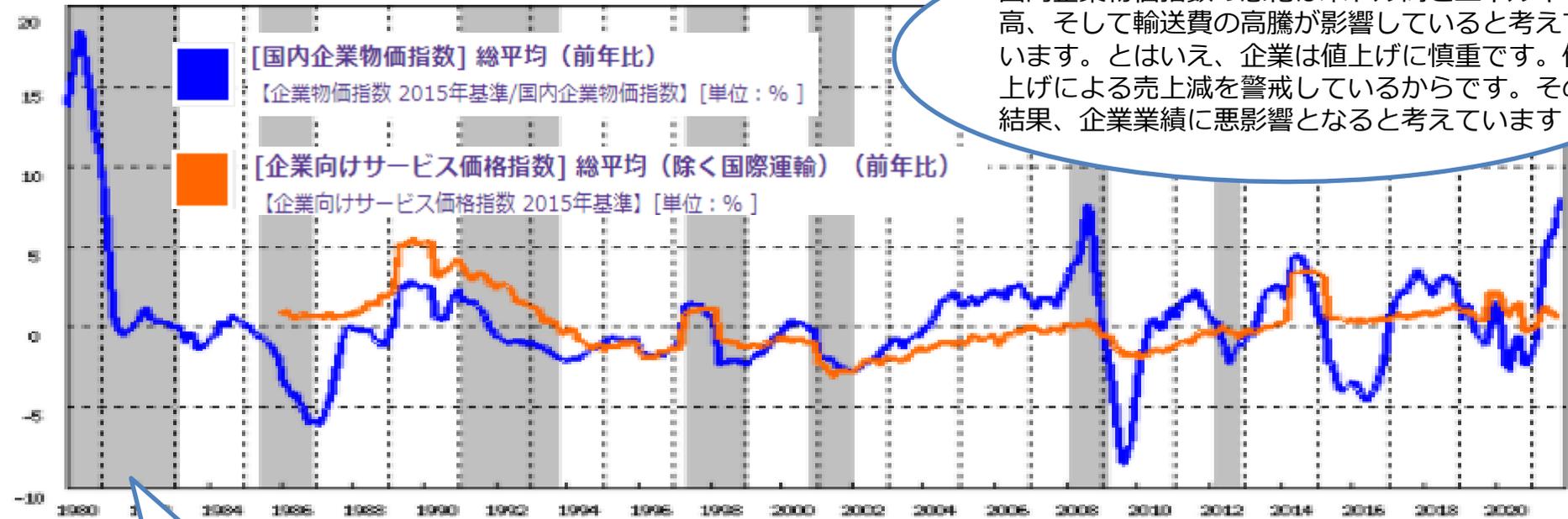
カネ回りが悪くなれば株価に逆風となり得ます

出所) 日銀、ブルームバーグより筆者作成(マネーストック:日本11月)



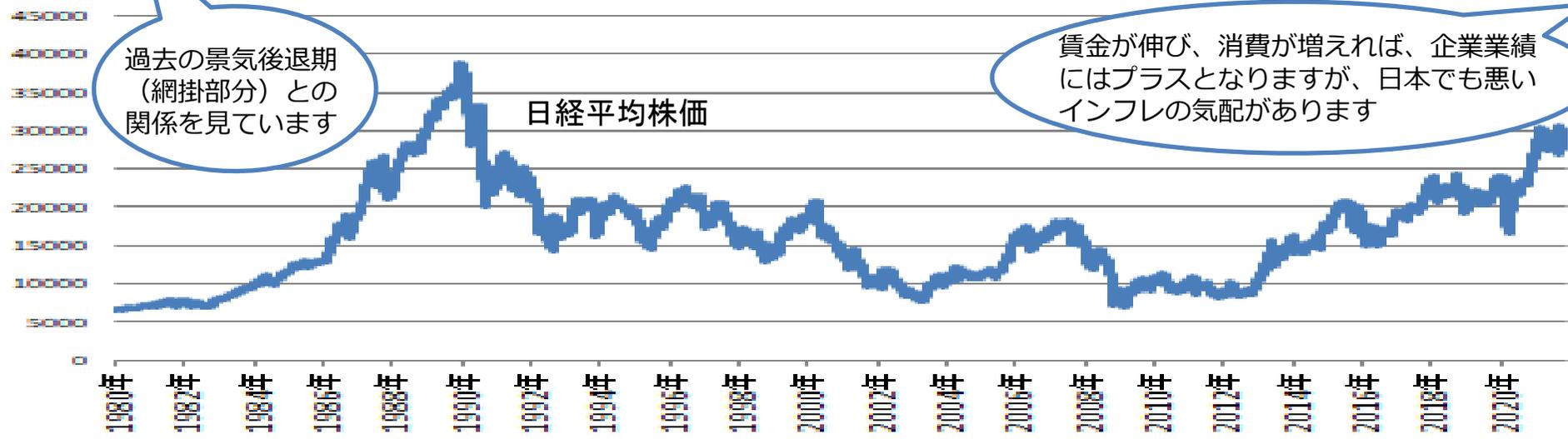
# 国内企業物価指数がさらに悪化 (P.7)

国内企業物価指数 = 企業間で売買されるモノの価格動向



国内企業物価指数の悪化は米ドル高とエネルギー高、そして輸送費の高騰が影響していると考えています。とはいえ、企業は値上げに慎重です。値上げによる売上減を警戒しているからです。その結果、企業業績に悪影響となると考えています

8月: 6.5%  
9月: 8.3%  
10月: 9.0%

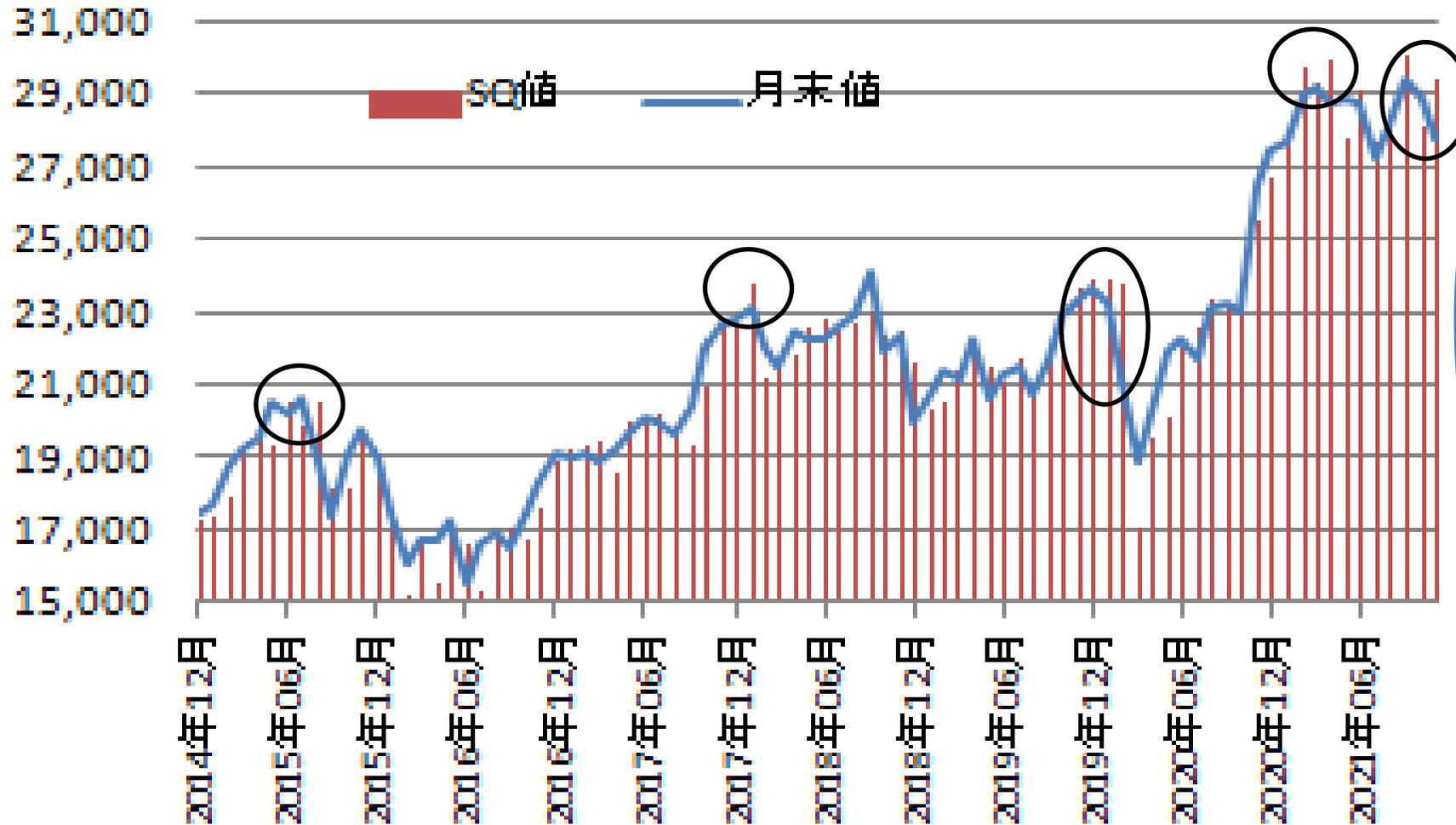


過去の景気後退期 (網掛部分) との関係を見ています

賃金が伸び、消費が増えれば、企業業績にはプラスとなりますが、日本でも悪いインフレの気配があります

# SQ値と月末値 (P.8)

青線は日経平均の月終値



特に天井でSQ値よりもその月の終値が下げていると、翌月も下げ基調となりやすい経験則があります。その時に他の経済指標なども参考にすると、より確度が高くなると考えています



出所) JPX、ブルームバーグより筆者作成

# EPSの上昇傾向は鈍化中 (P.9)

緑で塗りつぶしたグラフは日経平均のEPS（1株当たりの利益＝企業収益）伸び率



EPS伸び率の鈍化は少なくともPER（株価収益率）の拡大にはつながりませんので、日経平均の評価にマイナスだと考えています

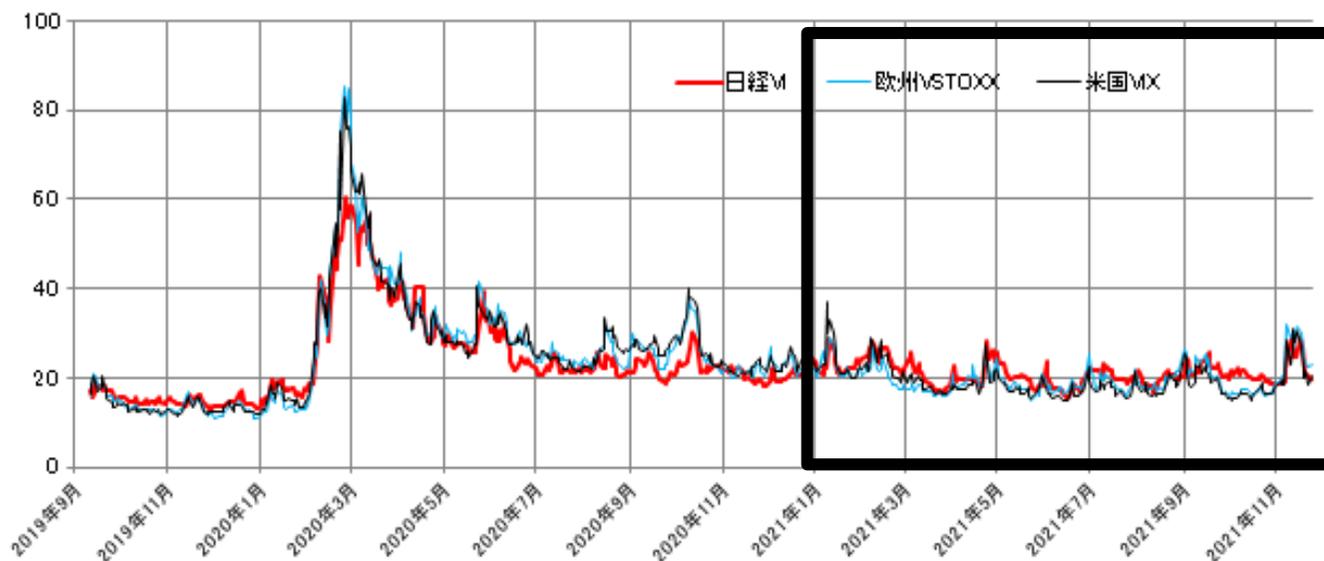
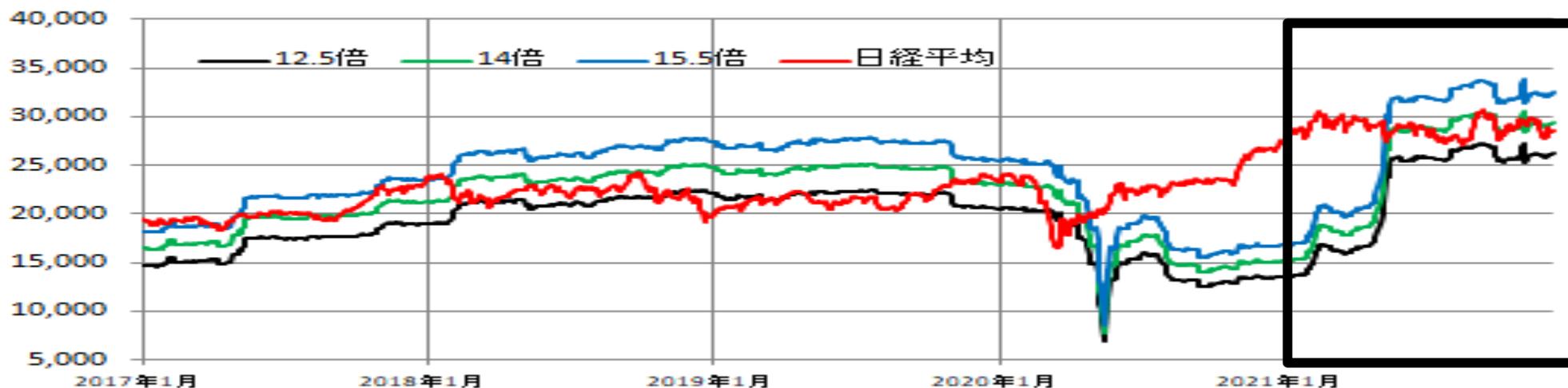


日経平均が3万円を目指した背景には、やはりマネーの伸び（過剰流動性）があったと思います。そして、業績回復も安心感につながったわけですね

出所) 日経新聞などより筆者作成  
(2021年12月13日現在)

例)	第1期	第2期	第3期
業績	100	50	100
伸び率		▲50%	+100%

## 2021年を振り返ると: 日経平均PERと日米欧のVOL指数 (P.10)



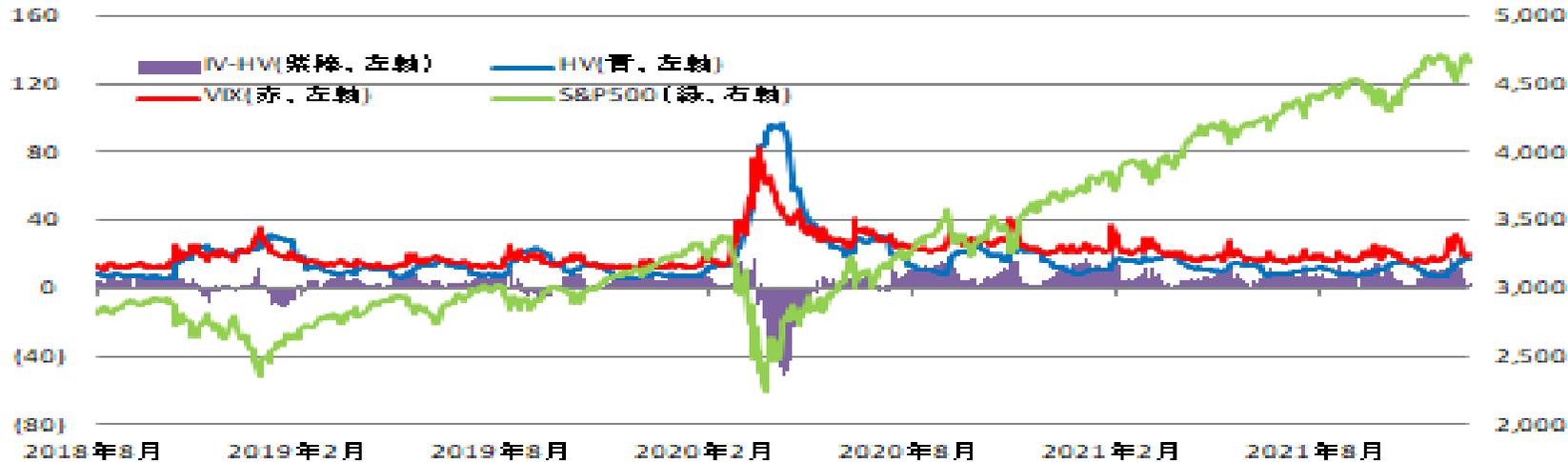
振り返るとボラティリティは、いろいろな情報を与えてくれたとみえてきます。人間の心理を表す情報も含まれています。『OP売坊戦略コース』では、このボラティリティが相場の状況を確認したり、急落を予見したりする、ひとつの重要なポイントであることをお伝えできればと考えています。お医者さんに例えれば、心電図の見方というイメージになるでしょうか？



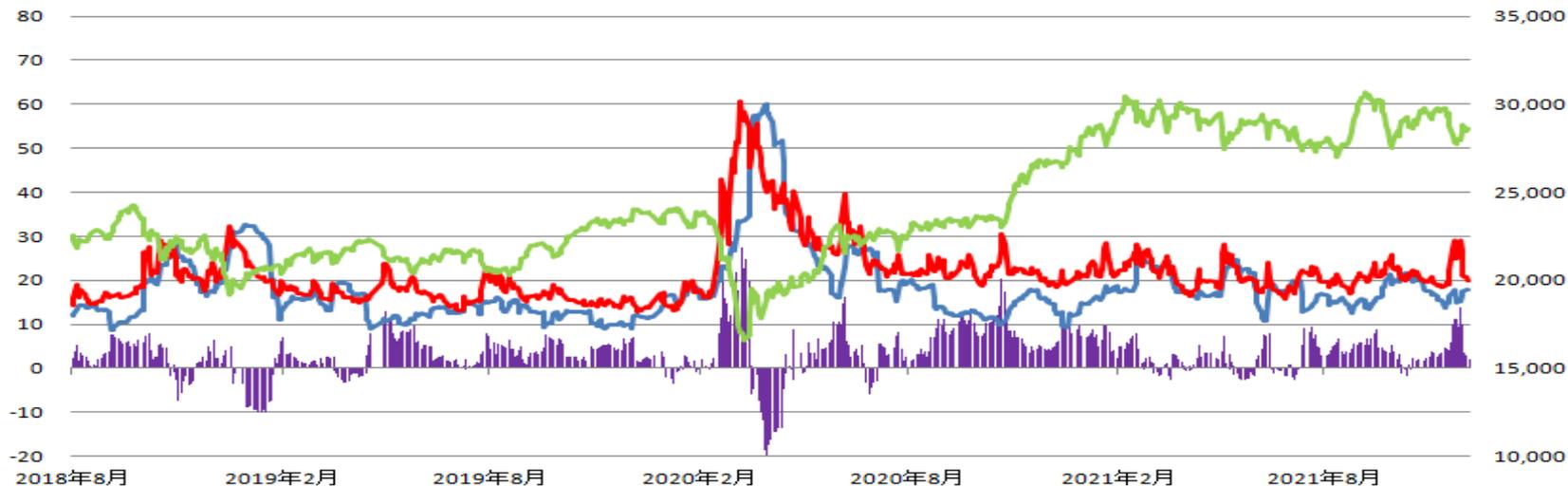
日本(日経VI):19.78 欧州(VSTOXX):23.02 米国(VIX指数):20.31  
出所)ブルームバーグなどより、筆者作成 (2021年12月13日現在)

# HVとIVは相場の状況を語り掛けてくれる情報源 (P.11)

S&P500 (緑、右軸)、HV (青、左軸)、IV=VIX指数 (赤、左軸)、IV-HV (紫棒、左軸)

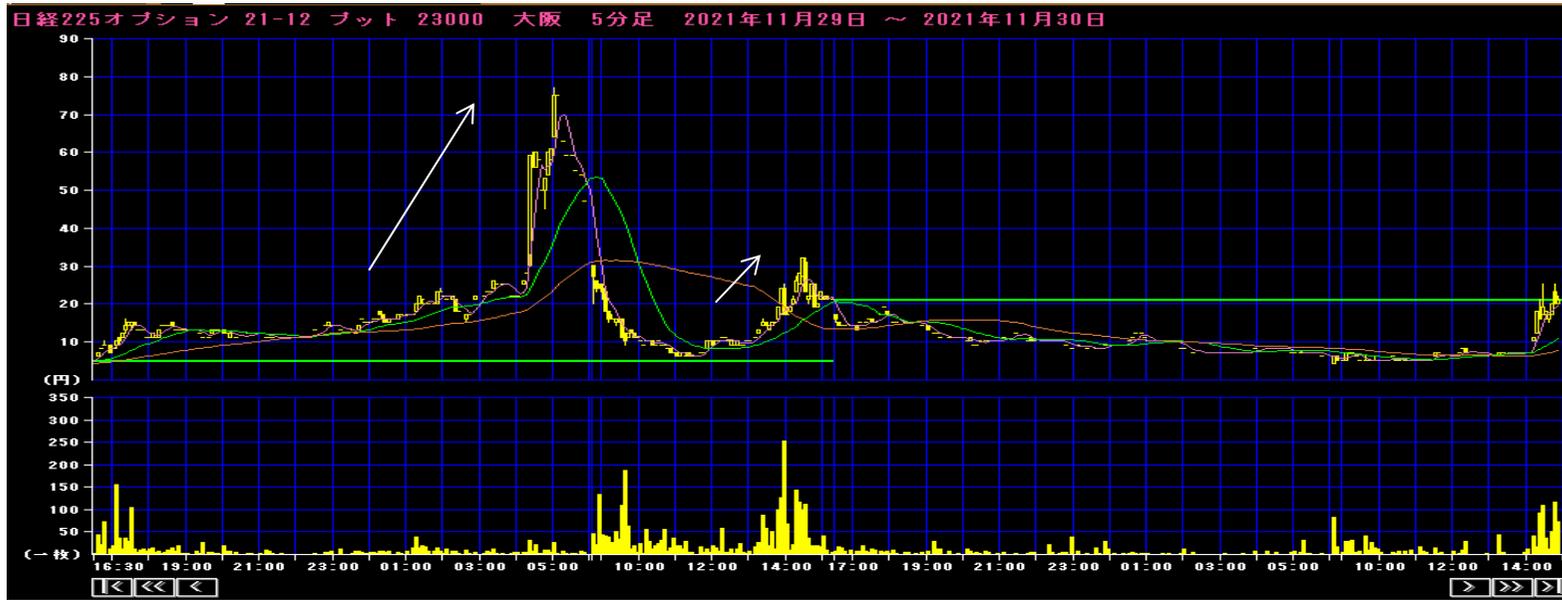


日経平均 (緑、右軸)、HV (青、左軸)、IV=日経VI (赤、左軸)、IV-HV (紫棒、左軸)



ボラティリティには過去の指数のデータから計算したヒストリカル・ボラティリティ (HV) とそのオプション価格から逆算したインプライド・ボラティリティ (IV) があり、それぞれが、また組み合わせで相場状況を伝えてくれます

# 大きな収益機会：12月限23000PUT(11月29日～12月1日) (P.12)



オミクロン株の第一報による警戒感から株価が急落したところでした。その結果、PUTに収益機会がありました。株式は不透明要因が出てくると敏感に反応しますので



日経平均の現在値に近い権利行使価格のオプションを選ぶのが一番良いとは限りません。『OP売坊戦略コース』では私なりの見方をお伝えしています

# OPTレードの主な戦略 (P.13)

経験・知識

イメージ図

『OP売坊戦略コース』では複合戦略についても紹介していますが、新規に入会されたばかりの会員様は単独戦略の修得から始めていきましょう

熟練

複合戦略(中級)

レシオ・バック・スプレッド  
レシオ・スプレッド

シンセティックCALL売

ブル・スプレッド  
ベア・スプレッド

単独戦略(初級)

DOTM CALL売

CALL・PUT買

初期

単純

複雑 戦略

# 米国株OPの魅力（日経OPと比較して）（P.14）

	米国個別株OP	日経平均OP
特徴	現物100株で受渡し 売り対象が多彩	差金決済
PUT売りの証拠金 売りPUTの行使を受けると	上限がある程度予測できる 現物株100株が手元に	予測不能 差金決済
基本戦略	PUT売り 行使されたら、カバードCALL	OTMのCALL売り
売り対象	① 高配当銘柄 ② 低位株 ③ 絶対にゼロにならないもの	標準偏差で管理
潜在インフレ率	高い	低い
言語	英語	日本語

米国個別株OPのほうが資金的に目途が立ちやすいので、考え方によっては使い勝手が良いともいえます



『OP売坊戦略コース』では米国株OPについても現在のところ「週次レポート」で毎週情報を発信させていただいております

## OP売場の重要視しているもの (P.15)

確率、勝率、収益率  
パターン分析(時系列、分布)  
資金管理、リスク管理  
簡単、シンプル

本日の番組資料は、番組HPまたはオプション倶楽部HP (optionclub.net) から取得できます。過去に私が出演したときの資料やフォローアップ記事などの情報も配信しておりますので、ぜひぜひご登録ください！



オプション倶楽部



---

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

筆者ブログ『実践日経オプション教室』

[www.jissennkop.blog.fc2.com](http://www.jissennkop.blog.fc2.com)

Copyright (c) 2019-2021日経OP売坊

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.